

11/10 米軍基地いらんちゃフェスタ

in 丹後 2019 に総結集を

日時 11月10日(日) 13時20分～15時20分 集会 15時20分～16時00分 デモ

集会場 丹後文化会館ホール(京丹後市峰山)

主催 米軍基地建設を憂う宇川有志の会 / 米軍基地反対丹後連絡会

協賛 米軍Xバンドレーダー基地反対・近畿連絡会 / 米軍基地いらない京都府民の会

「止めよう経ヶ岬の米軍レーダー・危険な戦争準備を許さない」緊急京都府民の会

スローガン

- ★東アジアに平和を！ 平和憲法にのっとり、日本は非核化、対話外交の先頭に立て！
- ★米軍Xバンドレーダー基地撤去！ 日本列島ミサイル防衛網反対！
- ★辺野古新基地建設阻止！
- ★住民の安全・安心の確立を！ 不平等条約日米地位協定の抜本的改定を！

すべての仲間の皆さん！ 11月10日(日)の米軍基地いらんちゃフェスタ2019への総結集を呼びかけます。

●防衛省の約束破りを許さない！日米地位協定の抜本的改定を！

防衛省は昨年から今年にかけて、住民や京丹後市・京都府に基地建設を受け入れさせるために行った約束を次々に破ってきました。昨年5月15日には、ドクターヘリ運航時にはレーダーを無条件で停波するという約束にもかかわらず不停波問題が発生し、防衛省は「米軍の運用上やむをえない場合」は停波しないと約束を反故にしました。

また、米軍関係者の交通事故について、防衛省はすみやかにすべての事故の概要を報告するという約束を破り、昨年2月から約1年報告が停止し、さらに本年3月には「今後は重大事故を除いて件数だけ報告する」と一方的な通告を行いました。許しがたいことは、京丹後市副市長がこの通告を容認したことです。そして、基地建設二期工事をめぐっても約束破りの土曜工事が恒常化しています。

これらの事態は、米軍に特権を保障し、米軍基地と米軍を治外法権の存在とする日米地位協定のもとでの現実を示すものです。このような

地位協定のもとで、住民の安全・安心よりも米軍の運用がいつも優先されてきたのです。防衛省の約束破りを厳しく追及し、日米地位協定に風穴を空けるような闘いをつくりだしましょう。このような日米地位協定に同意してきたのは日本政府です。京丹後現地での闘いを日米地位協定の抜本的改定に向けた日本政府との闘いへと発展させていきましょう。



いらんちゃフェスタ2018 集会後のデモ

(2018.11.4)

●米軍基地撤去！改憲・辺野古新基地建設阻止！安倍政権打倒へ！

京丹後および車力の米軍基地は、山口県や秋田県へのイージスアショア配備、南西諸島への自衛隊ミサイル部隊の配備などと結合して、日本列島を覆うミサイル防衛網の拠点となってきました。基地の重要性の増大にともない、鋼鉄製シェルター・防護壁・銃座付き監視塔の建設が計画され、基地はますます要塞化されようとしています。

安倍政権のもとで、日本は「戦争をする国」へと大きく転換しようとしています。2015年の日米ガイドラインの改定と2018年の新防衛大綱の策定は、日本の防衛範囲を東アジアへと拡大し、日本の海外権益を防衛するための自衛隊

の本格的な海外派兵を推進するものです。日米両軍が共同使用する新たな出撃拠点を建設しようとする辺野古新基地建設こそ、その戦略的要となるものであり、憲法改悪は安倍政権にとって絶対不可欠なものとなっているのです。この間の連帯労組関生支部への大弾圧は、これらと結合して、闘う労働組合・市民団体を破壊しようとするもので断じて許せません。

日米両軍のミサイル防衛戦略と対決し、ますます軍事拠点化する京丹後の米軍基地を何としても撤去させましょう。そして、辺野古新基地建設阻止！改憲阻止！安倍政権打倒に向けて総決起していきましょう。

●東アジアの平和を！日本政府は朝鮮植民地支配の謝罪と賠償を実施せよ！

昨年4月27日の歴史的な朝鮮南北首脳会談・板門店宣言から1年半が経過しましたが、東アジアの平和への流れは停滞しています。その主要な責任は、米・トランプ政権が朝鮮民主主義人民共和国に対して一方的な核・ミサイルの放棄を迫り、制裁を解除せよという共和国の要求を拒否してきたことにあります。安倍政権は、共和国に対して安易な妥協をするなどトランプ政権に要請しつつ、他方で徴用工裁判や日本軍「慰安婦」問題などをめぐって韓国民衆および文在寅政権との対立を深刻化させてきました。

7月1日に公表された韓国への経済制裁は、かつての朝鮮植民地支配と侵略戦争への謝罪と賠償を拒否するだけでなく、東アジアの平和に向かう流れをけん制し、文在寅政権の崩壊を促進しようとするものです。韓国では、今でも宗主国であるかのような安倍政権の傲慢な態度

に民衆が激しく憤慨し、8月15日には安倍を糾弾するローソク集会在10万人の参加で開催されました。再び韓国の民衆の心にローソクの灯がともり、それは燎原を焼き尽くす炎のように韓国全土に燃え広がってきています。このような民衆の闘いに突き動かされて、文在寅政権はGSOMIA（日韓軍事情報包括保護協定）の破棄を決定しました。

韓国の労働運動は、この朝鮮植民地支配の謝罪と賠償、韓国への経済制裁の撤廃を求める民衆の闘いの先頭に立ちつつ、他方で「国難」を理由にサムスンなどの独占資本／多国籍資本への政府からのテコ入れ、労働者への犠牲のおしつけと労働法制改悪を推進する文在寅政権との闘いをおし進めています。

経済制裁とは、「武器を使わない戦争」と言うべき敵対行為あり、軍事的威嚇や軍事介入と陸続きの行為です。朝鮮・韓国への経済制裁を直ちに撤廃させ、朝鮮戦争平和協定の締結と朝鮮半島の非核化、米軍の東アジアからの総撤収と自衛隊の海外派兵阻止に向けて国際連帯をもって闘うことがますます重大な課題となっています。東アジアの平和とは、日本の植民地支配の謝罪と賠償という正義の上にこそ築かれるものです。「NO！安倍」を掲げて決起する韓国の民衆、サード配備と対決する星州（ソンジュ）・金泉（キムチョン）の住民との連帯を強化し、国際連帯をもって東アジアの平和な未来を切りひらくためにともに闘いましょう。



サード配備に反対する星州の人たち

(2019. 8. 24)

米軍Xバンドレーダー基地反対・近畿連絡会

代表世話人 大湾宗則 服部良一

連絡先 京都市上京区四番町121-5 TEL/FAX 075-467-4437